神奈川自然誌資料 (38): 9 － 11, Feb. 2017

東京都新産の従属栄養性ラン科植物エンシュウムヨウラン

設樂 拓人・末次 健司・福永 裕一

Takuto Shitara, Kenji Suetsugu and Hirokazu Fukunaga: A New Record of the Mycoheterotrophic Orchid *Lecanorchis suginoa* in Tokyo Prefecture

ラン科のエンシュウムヨウラン *Lecanorchis suginoana* (Tuyama) Seriz. はムヨウラン属 *Lecanorchis* Blume の多年生菌従属栄養植物である。本種は従来，静岡県と愛知県に局所分布すると考えられていたが（津山 , 1982; 杉野 , 1985; 杉野・鈴木 , 1987; Hashimoto *et al*., 1990），近年，関東の茨城県，埼玉県，東海の静岡県，愛知県，近畿の大阪府，奈良県，京都府，四国の高知県，そして九州の宮崎県での報告例が相次いでいる（津山 , 1982; 杉野 , 1985; 澤 , 1987; 杉野・鈴木 , 1987; Hashimoto *et al*., 1990; 静岡県自然環境調査委員会編 , 2004; 南谷 ,2005; 芹沢 , 2005; 吉野ほか , 2005; 牧野記念財団 , 2009; 高知県 , 2011; 宮崎県版レッドデータック改訂検討委員会 , 2011; Okuyama *et al*., 2012; 内山 , 2013; 福永ほか , 2015）。また台湾にも分布することがわかっている（Hsu, 2009）。筆者らはムヨウラン属の分布調査を行っており，その過程で，東京都八王子市の落葉広葉樹林の林床において，エンシュウムヨウランを発見したのでここに報告する。

エンシュウムヨウランの記載以降に公表された文献における東京都のムヨウラン属の分布記録を見ると，ムヨウラン *Lecanorchis japonica* Blume，クロムヨウラン *Lecanorchis nigricans* Honda については記録があるものの，エンシュウムヨウランについての記載はない（秋川市史編纂委員会 , 1983; 鈴木 , 1984; 北区環境保全課 , 1987; 畔上ほか , 1991; 小野 , 1991; 近田ほか , 2000; 多摩市文化振興財団 , 2004; 杉並区環境清掃部環境課 , 2006; 日野市環境情報センター , 2008; 清瀬の自然を守る会 , 2010）。また，近年の文献にも本種の記載はなく（大場ほか 2013; 畔上ほか 2016），東京都において新産であることがわかった（図 1）。今回発見したエンシュウムヨウランの生育環境は，コナラ *Quercus serrata* Murray を中心とした落葉広葉樹林内で，アカシデ *Carpinus laxiflora* (Siebold et Zucc.) Blume，シラカシ *Quercus myrsinifolia* Blume，ウワミズザクラ *Padus grayana* (Maxim.) C.K.Schneid.，ヤマザクラ *Cerasus jamasakura* (Siebold ex Koidz.) H.Ohba，アカマツ *Pinus densiflora* Siebold et Zucc.，ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. が混生していた。低木層にはアオハダ *Ilex macropoda* Miq.，リョウブ *Clethra barbinervis* Siebold et Zucc.，アセビ *Pieris japonica* (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. *japonica*，ヤマウルシ *Toxicodendron trichocarpum* (Miq.) Kuntze，ナツハゼ *Vaccinium oldhamii* Miq.，ヤマツツジ *Rhododendron kaempferi* Planch. var. *kaempferi*，オトコヨウゾメ *Viburnum phlebotrichum* Siebold et Zucc.，ウリカエデ *Acer crataegifolium* Siebold et Zucc.，コゴメウツギ *Neillia incisa* (Thunb.) S.H.Oh，ヒサカキ *Eurya japonica* Thunb. var. *japonica*，イヌツゲ *Ilex crenata* Thunb. var. *crenata*，アズマネザサ *Pleioblastus chino* (Franch. et Sav.) Makino，サルトリイバラ *Smilax china* L.，草本層には，オオバノトンボソウ（ノヤマトンボ）*Platanthera minor* (Miq.) Rchb.f.，ギンリョウソウ *Monotropastrum humile* (D.Don) H.Hara，イチヤクソウ *Pyrola japonica* Klenze ex Alefeld，オオバギボウシ（トウギボウシ）*Hosta sieboldiana* (Lodd.) Engl.，チゴユリ *Disporum smilacinum* A.Gray，ギンラン *Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume var. *erecta* などが生育していた。

自生地ではエンシュウムヨウランは約 50 個体確認された。またホクリクムヨウラン *Lecanorchis hokurikuensis* Masam. が数個体確認され，同所的に生育していた。なおこのホクリクムヨウランも，これまでの文献情報を精査した結果，エンシュウムヨウラン同様に東京新産であることも確認された（図 2）。

エンシュウムヨウランはムヨウランにやや似るが，高さ約 20 cm 以下と小型であること，唇弁左右の側裂片はやや丸みを帯びていること，唇弁周辺部に鋸歯がほとんどないこと，蕊柱上部の翼がより尖っていること，唇弁の毛に突起物が分岐して枝毛状になってい

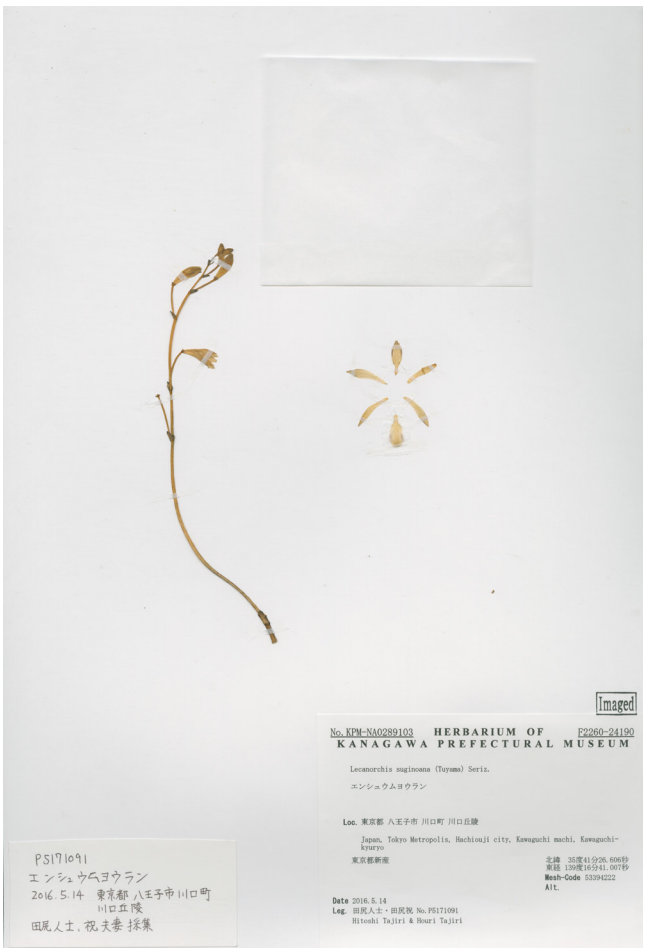

図 1. 東京都八王子市で確認されたエンシュウムヨウラン *Lecanorchis suginoana* (Tuyama) Seriz. の全体株（左）（撮影：田尻人士）とさく葉標本（右 , KPM-NA0289103）.

図 2. 東京都八王子市で確認されたホクリクムヨウラン *Lecanorchis hokurikuensis* Masam（撮影：田尻人士）.

ること，花色が帯黄褐色であることなどで区別される（津山 , 1982; 杉野 , 1985）。また，ホクリクムヨウランとは、高さ約 20 cm 以下と小型であること、花が斜め上向きに咲くこと、花色が帯黄褐色であることなどで容易に区別が可能である。大きさがよく似るウスキムヨウラン *Lecanorchis kiusiana* Tuyama ともよく混同されるが，唇弁左右の小裂片は丸みを帯びていること，唇弁周縁部に鋸歯がほとんどないこと，唇弁の毛の量が少ないこと，唇弁の毛の突起物がおよそ上半分までに枝毛状に分岐すること，唇弁の毛色が黄色であること，蕊柱先端部の左右両縁が尖ってやや突出し 3 裂しないことなどで容易に区別できる（津山 , 1982; 杉野 , 1985; 芹沢 , 2005; Fukunaga *et al.*, 2008）。

今回の報告を含め，近年多くの都府県でエンシュウムヨウランが報告されている現状を考えると，神奈川県をはじめ，まだ報告されていない近隣の県でも，エンシュウムヨウランはムヨウランやホクリクムヨウラン，そしてウスキムヨウランと混同されている可能性があり，今後注意する必要がある。

なお、証拠標本は神奈川県立生命の星・地球博物館にさく葉標本および液浸標本として寄贈した。

証拠標本

エンシュウムヨウラン：東京都八王子市川口町：May 14, 2016, 田尻人士，KPM-NA0289103

ホクリクムヨウラン：東京都八王子市加住町：May 14, 2016, 田尻人士，KPM-NA0289104

本報告をまとめるにあたり，本種の発見者であり，産地の分布状況のご教授、標本を採集していただいた田尻人士、祝夫妻に心より御礼申し上げる。

引 用 文 献

秋川市史編纂委員会編 , 1983. 秋川市史 本編 . 1638 pp. 秋川市 , 東京 .

畔上能力・谷本丈夫・豊田武司 , 1991. 武蔵野陵墓地（多摩御陵）の植物 . 東京都高尾自然科学博物館研究報告 , 14: 1–20

畔上能力・内野秀重・奥田重俊・菱山忠三郎・新井二郎・畔上直樹・小林健人・設樂拓人・堀 清鷹 , 2016. 1. 植物 . 八王子市市史編集専門部会自然部会編 , 新八王子市史自然調査報告書 八王子市動植物目録 , pp.1–150. 八王子市史編さん室 , 東京 .

近田文弘・秋山 忍・門田裕一 , 2000. 皇居吹上御苑の維管束植物 . 国立科学博物館専報 , 34: 7–43.

Fukunaga, H., S. Sawa and Y. Sawa, 2008. A new form of Lecanorchis kiusiana. *Orchid Review*, 116(1280): 106–108.

福永裕一・末次健司・長谷川匡弘・澤 進一郎 , 2015. エンシュウムヨウラン（ラン科）を近畿に記録する . 分類 , 15(2): 191–194.

Hashimoto, T., 1990. A taxonomic review of the Japanese Lecanorchis (Orchidaceae). *Annals of the Tsukuba Botanical Garden*, 9: 1–40.

日野市環境情報センター編 , 2008. 日野市高等植物目録 2007. 日野市環境情報センター年報 2006, 2: 116–136.

Hsu, T.-C & S.-W. Chung, 2009. Supplements to the orchids of Taiwan(Ⅰ). *Taiwania*, 54(1): 82–87.

北区環境保全課編 , 1987. 北区植物調査報告書 . 108pp. 東京都北区 , 東京 .

清瀬の自然を守る会編 , 2010. 清瀬の植物 - 清瀬の植物調査報告（付）植物リスト . 102pp. 清瀬市 , 東京 .

高知県 , online. 高知県林業振興・環境部環境共生課 , 2011. 高知県レッドリスト（植物編）2010 年改訂版 . http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030701/redlist-syokubutu.html (accessed on 2016-May-16).

牧野記念財団編 , 2009. 高知県植物誌 . 844 pp. 高知県 , 高知 .

南谷忠志 , 2005. 南九州の新分類群の植物とその保全 . 分類 , 5: 67–84.

宮崎県版レッドデータブック改訂検討委員会編 , 2011. 宮崎県の保護上重要な野生生物 改訂・宮崎県版レッドデータブック 2010 年度版 . 352 pp. 鉱脈社 , 宮崎 .

大場秀章・畔上能力・奥田重俊・池田 博・内野秀重 , 2013. 植物 . 東京都環境局自然環境部編 , レッドデータブック東京 2013 東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版 , pp.27–299. 東京都環境局自然環境部 , 東京 .

Okuyama, M., M. Yamato, T. Yagame and K. Iwase, 2012. Mycorrhizal diversity and specificity in Lecanorchis (Orchidaceae). *Mycorrhiza*, 22(7): 545–553.

小野幹雄 , 1991. 多摩川水系東京都地域内の絶滅危惧植物の現状に関する調査報告 .（財）とうきゅう環境浄化財団（学術）研究助成 , 137: 1–21.

澤 完 , 1987. 四国産ラン科植物の分布（第 5 報）. 園芸学会中四国支部発表要旨 , 26: 54.

芹沢俊介 , 2005. 愛知県のムヨウラン類 . 分類 , 5(1): 33–38.

静岡県自然環境調査委員会編 , 2004. まもりたい静岡県の野生生物－県版レッドデータブック 2004 植物編 . 351 pp. 羽衣出版 , 静岡 .

杉並区環境清掃部環境課編 , 2006. すぎなみの注目動植物～レッドデータブックの実現にむけて～ . 56 pp. 杉並区環境清掃部環境課 , 東京 .

杉野孝雄 , 1985. エンシュウムヨウランの観察 . 遠州の自然 , 8: 17–27.

杉野孝雄・鈴木一郎 , 1987. 遠州地方のムヨウラン類の分布と生態 . 遠州の自然 , 10: 77–91.

鈴木和雄 , 1984. 奥多摩植物目録 . 東京都高尾自然科学博物館研究報告 , 12: 1–48.

多摩市文化振興財団編 , 2004. 多摩市の植物目録 . 84 pp. パルテノン多摩資料叢書第 1 集 . 東京 .

津山 尚 , 1982. ムヨウランの 1 新変種エンシュウムヨウランを巡る問題 . 植物学研究雑誌 , 57: 205–211.

内山治男 , 2013. エンシュウムヨウラン（ラン科）を茨城県に記録する . 茨城植物研究 , 5: 47–49.

吉野奈津子・藤井伸二・西田佐知子 , 2005. 名古屋大学構内におけるエンシュウムヨウランの発見 . 名古屋大学博物館報告 , 21: 141–146.

設樂拓人：筑波大学大学院生命環境科学研究科

末次健司：神戸大学理学研究科

福永裕一：徳島県徳島市